



CIAM Chronicle

Center for Infrastructure Asset Management Technology and Research : Chronicle

Vol.12

ニュースレター
2017.3

ごあいさつ

「ME 養成講座10年を迎えて」

平成20年7月、岐阜大学に社会資本アセットマネジメント技術研究センターを設立しました。センターでは、社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座を開始しました。当時の達成目標として、『社会資本の整備・維持管理を計画・設計・施工/実施できる総合技術者 (ME) を養成し、5年で100名輩出する。行政 (発注者) と業界 (受注) の双方が総合的な技術力を保有することで、合理的な発注計画、高品質な整備を通じた受注が可能となり、「安全・安心な県土の保全」と「地域の活性化」を図ること』を掲げました。5年経過した際、輩出人数は目標の倍近い人数で達成すると同時に、養成講座の継続を各方面からご要望いただき、平成29年度で10周年を迎えようとしております。

ここで、紙面をお借りして、ME養成講座の意義について考えてみたいと思います。社会基盤は、ご存知のように、「計画→調査→設計→施工→点検→診断→修繕or更新」というフローで整備され、維持管理されています。一連のフローのそれぞれの段階で、専門とする組織が主要アクターとして活躍しています。また、行政等は全体のフローを俯瞰しています。

同一組織に長くいると、その組織の経験 (暗黙知) のみが進化し、見るべきもの、聞くべきことを無視して、ある対象にしか興味がなくなります。よく言われる「カクテルパーティー効果」です。シーザーは、「多くの人は見たいと欲するものしか見ない」と嘆き、ゲーテは、「人間は自分の聞きたい言葉しか聞かない」と叫んでいます。こうなると、自己の技術を過大評価する危険性があります。インフラ整備→維持管理フローの実践



岐阜大学工学部 教授
八嶋 厚

は、ひとつの組織で解決できない重層的課題となっています。課題全体を俯瞰できる受発注者が、垣根を越えて形式知を伝え合い、実践知に昇華する仕組み作りが問われているのかもしれませんが。ME養成講座は、社会資本整備・維持管理という目的を共有した異なる組織の技術者たちが、「他人を知り、外界を知ることで自分を知る」機会を与えるものです。社会資本整備・維持管理の全体像がわかるだけでなく、自分の足りないところを確認することができます。

「技術者の人材育成は、どのようにすればできるだろう?」という問いに答えることは大変難しいと思います。しかし、一言で表現するなら、「ともに学ぶ仲間と本気で切磋琢磨し合うこと」に尽きるのではないのでしょうか。言葉にしまえば簡単ですが、実行するのは難しい、継続するのはもっと大変です。一人で奮闘しても意味がありません。ME養成講座後も互いの刺激を受け、さらに研鑽・飛躍できると最高です。そのような人間関係に恵まれる場所を大学以外に求めることは容易ではないと思います。

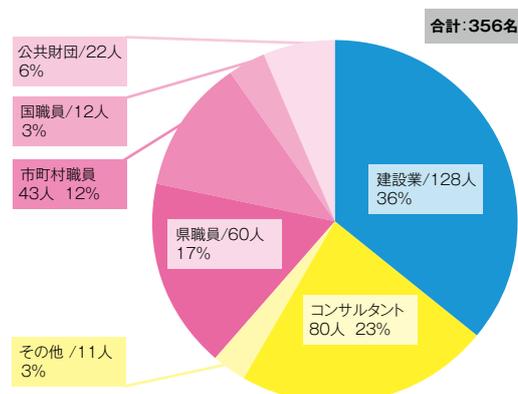
CIAMは、社会資本整備・維持管理に関する高度な形式知を教授するだけでなく、MEがそれぞれの組織に帰った後、各自が現場での経験と省察を通して、学んだ形式知を実践知に変換する過程をサポートします。MEは、フォローアップ研修等を通じて、自分の成長をチェックすることができます。

巣立ったMEがそれぞれの組織で活躍し、自己研鑽を重ね、社会資本整備・維持管理の主人公となるよう祈念しています。

地域ニーズに応えるインフラ再生技術者の教育システムの確立

社会人インフラメンテナンス技術者育成事業

岐阜大学インフラマネジメント技術センターは、平成20年度から社会人専用の「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座」を開講しています。そこでは、主に道路に関する社会基盤施設の維持管理についての総合的な講義が展開されています。平成28年末でのME認定者の職種分布を図にしました。建設/施工等・調査/設計等・行政等のME認定者が同等の技術者として、より良いインフラのあり方を考え、地域の健全なインフラ整備に取り組みます。産官学協働の人材育成事業として、今後もME養成講座を継続します。



教育システムの確立にむけての課題

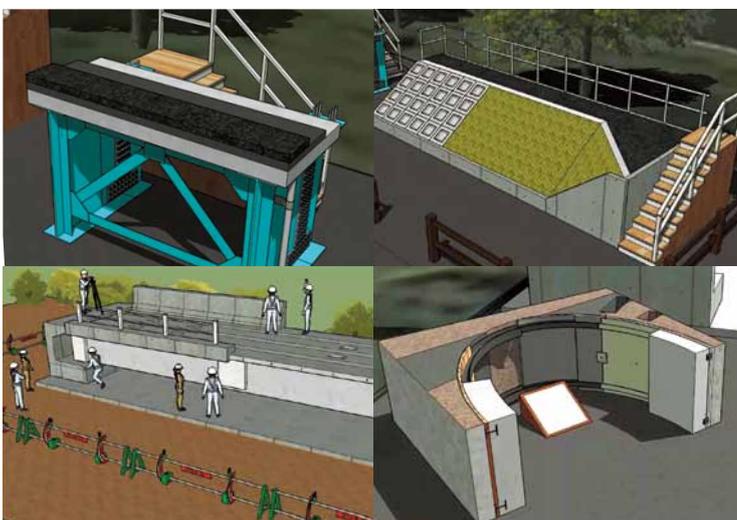
インフラ再生技術者の教育システムの確立にむけ、平成28年度は3つの課題に取り組みました。

①インフラミュージアムの整備

土木構造物の建設過程を学ぶ「インフラミュージアム」の整備に着手しました。図のように、長さ15メートルのコンクリート橋、橋の鋼桁、トンネルの断面、土構造物の4つを新設します。通常見えない部分をあらわにするなど、見せ方にも工夫し、例えばトンネルは輪切りにして横倒しにし、「矢板工法」と「NATM工法」を両方同時に再現します。ぜひ、見学にお越しください。

構造物の維持管理には、その構造物をよく知ることが重要です。特に、社会基盤構造物には、機能と性能の両方を満足し、かつ、利用者の安全を確保することが重要です。そのため、対象構造物がなぜそこにその形状で存在し、なぜその設計なのか等を知ることが重要です。それらから、現在の状態を理解し、今後どのように変化するか予測できるため、適切な維持管理が可能になります。

教材用の古い橋などの公開展示はありますが、複数の土木構造物を学内に新設した例はありません。いつでも安全に見学できる場を設け、「社会基盤メンテナンスエキスパート」、工学や力学を学ぶ学生



の教育に活用します。ミュージアム整備にあたり、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラムの助成や企業の協力をいただきました。

②インフラメンテナンス技術者の教育システム構築

平成29年度より、未就業者学生と社会人学生が連携して学べる「インフラマネジメントリーダー」を養成する大学院プログラムを開講しました。これまで継続してきたME養成講座の実績があるからこそ実現できるプログラムで、以下①および②を目的としています。

- ① 確かな形式知をもった即戦力を有するインフラマネジメントリーダー（未就業学生）の輩出
- ② 技術力だけでなく、説得力をもったインフラマネジメントリーダー（社会人）の輩出

この新しい教育システムのマネジメントサイクル（図参照）の各要素を見直し、継続的な教育の質の向上を目指します。

未就業者学生と社会人学生が連携して同じ課題について検討するPBLチュートリアル教育※により、以下に示すような高度な専門職業人を養成します。

※PBL=ProblemBasedLearning（課題解決型学習）

【未就業学生】

- ・社会基盤工学の高度な専門性とそれを伝える表現力（形式知）
- ・PBLチュートリアル教育を通じた形式知の深い理解とデザイン思考力
- ・劣化損傷事例からその原因を科学的・論理的に推察する能力
- ・グループとして問題解決に努力できるチームワーク力

【社会人学生 (ME)】

- ・特定分野の高度な専門性に加え、幅広い知識に基づく総合能力（プレゼン能力、合意形成力含）
- ・維持管理に関わる諸問題についてその原因を科学的・論理的に推察し診断する能力
- ・幅広い分野の知識を柔軟に活用し課題解決方法を提案する能力
- ・維持管理に関わる諸問題解決のためのチームを主導し、問題解決へ導く実践力

教育システムのマネジメントサイクル(案)

ACTION

- ・教育改善策
- ・大学間連携会議
(情報交換と共有)
- ・FD

PLAN

- ・ポリシー設置(人材像)
ディプロマポリシー
カリキュラムポリシー
アドミッションポリシー
- ・シラバス
- ・カリキュラム
時間割・講師・配置・実習・場所

CHECK

- ・講義アンケート
- ・レポート対話
- ・外部評価
人材確認・活躍の場検討
ニーズ集約・カリキュラム確認

DO

- ・養成講座実施
- ・レポート実施
- ・試験の実施

未就業者学生と社会人学生によるPBLチュートリアル教育

アドバイス & フィードバック

社会人学生
(チューター)

実践知の再構築

チューター&受講者
技術と知識のスパイラルアップ

未就業学生

実践知の習得・形式知化

- 劣化(変状)事例の提示 ▶ 課題の抽出 ▶ 討論・仮説の立案 ▶ 学習方法の立案
- ▶ グループ学習 ▶ 自己学習 ▶ まとめと自己評価
課題解決

③実践的な行動ができる技術者育成プログラム

MEが地域社会で役立つために必要な知識および説明能力を身につけるカリキュラムを検討し、平成29年度後期ME養成講座より導入します。MEには「地域のインフラ町医者」としての活躍が期待されており、各地域の住民の方たちがインフラに対して感じる不安や不満について、気軽に相談できる技術者としての役割が期待されます。そのためには以下の能力が必要です。

- ・状況をわかりやすく住民に知らせるための説明能力
- ・住民の話を聞き問題点を引き出す能力
- ・劣化を予防するための地域の取り組みを促進させることができる能力

SIP事業におけるMEの活用

CIAMでは、平成28年度から、内閣府による戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」において、「アセットマネジメントに関わる技術の実用化・事業化のための出口戦略強化」として、アセットマネジメントに関わる技術の地域への実装支援課題の採択を受けることができました。CIAMは、「使いたくなるSIP維持管理技術のMEネットワークによる実装」という題目で、SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」において提案されている研究開発技術の実装を支援します。具体的には、CIAMと地域自治体およびMEが保有するインフラメンテナンスに関する技術と産官学ネットワークを活用することにより、SIP事業で提案された技術の社会実装をめざしています。

インフラメンテナンスに関する人材育成の 地域的な広がり

CIAMは、長崎大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学、舞鶴工業高等専門学校と、これまで実施してきた社会人の学び直し事業における協力関係を礎に、「社会資本の整備及び維持管理等に係る人材育成の連携協力に関する覚書」のもと、コンソーシアムを構築しました。各地域との協力関係より確実にし、各地域でのインフラメンテナンス及び人材育成に関する課題を打ち消しあい、良い取組の論理や方法を共有することより、地域に根ざしたインフラ管理技術者の育成事業を促進させます。今後、上記以外の地域でも、地域に即したインフラメンテナンスにかかる人材育成事業が始まり発展するように、コンソーシアムとしても社会貢献に資する事業を推進します。

このコンソーシアムで実施している土木技術者の養成講座は、国土交通省による「第1回インフラメンテナンス大賞」において、特別賞を受賞しました。(平成29年4月)

イベント報告

シンポジウム 安心・安全な国土形成から元気な地方を!あたりまえの“みち”のために

道路や橋があたりまえに利用でき、私たち住民は安全で安心に過ごしています。通れなくなったときの不便さで気づくのが、道路や橋の存在。そして、そのあたりまえは、多くの土木技術者によって守られています。土木技術者の学び舎を運営している大学の紹介を含め、支援する地域の取り組みに着目してみました。

日時 平成29年2月3日(金) 13:00~17:30 場所 今池ガスホール(名古屋市千種区今池1-8-8)

話題提供 「事業の趣旨等について」

講師 文部科学省高等教育局専門教育課 教育振興係長 三田 洋介氏

基調講演 「京都府北部における土木技術者の再教育」

講師 (独) 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科・iMec・センター長 玉田 和也氏

話題提供 「直轄職員が技術力を継続しなければならない理由」

講師 国土交通省中部地方整備局道路部交通対策課 交通対策課長 翠 昭博氏

中核事業連携機関の活動報告

講師 岐阜大学 教授・副センター長 倉内 文孝

参加者の声

- ・パネルディスカッションでは、現地の生の声が聞けたと思う。非常に有意義だった。
- ・全国のME活動が良く分かった。
- ・どうやって一般市民を巻き込み裾野を拡げていくかを考えていってほしい。それをME道守の方々にも携わってほしい。
- ・大変面白かった。各ME講座の詳細をもう少し聴きたかった。
- ・MEのあり方今後の展望に関する内容であったと感じました。
- ・土木技術者を支援する各地域の取り組みを知ることが出来、とても勉強になりました。

CIAMインフラマネジメント講演会

地域の技術者に最新の情報を提供することを目的としています。また、メンテナンスエキスパート (ME) の継続教育にも活用できる内容を盛り込んでいます。

第6回 地域協働型インフラ管理実施報告会 -住民とMEによる協働点検-

日時 平成28年3月18日(金) 13:30~17:00 場所 岐阜大学 サテライトキャンパス

中津川市神坂地区では、地域住民とMEが一緒になって地域のインフラや土砂災害などの危険区域を点検する「協働点検」を実施しています。中津川市神坂地区の協働点検の取り組みを紹介しながら、地域の特徴に応じた防災やインフラ管理について考えました。

第7回 コンクリート構造物の補修システムの再評価

日時 平成28年5月13日(金) 14:00~17:00 場所 岐阜大学 講堂

講師 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 丸山 一平氏

本講演会では補修された構造物もいつか必ず劣化することを念頭におき、劣化を制御した補修について講演いただきました。

第8回 コンクリート構造物のひび割れとその対策

日時 平成28年11月30日(水) 15:00~17:00 場所 岐阜大学サテライトキャンパス

講師① マスコンクリートの温度ひび割れの現状と対策について

法政大学 教授

溝渕 利明氏

講師② 建築分野におけるひび割れの現状と対策について

鹿島技術研究所 建築生産グループ長

閑田 徹志氏

本講演会では、土木、建築における新設時に発生するひび割れにターゲットを絞り、その原因から対策までを丁寧に紹介いただきました。地域の技術者の皆さんが普段困っている課題について易しく解説していただきました。

第9回 構造物中の鋼材の腐食の基礎と応用

日時 平成29年1月26日(木) 15:00~17:00 場所 岐阜大学サテライトキャンパス

講師① コンクリート中の鋼材の腐食・防食の基礎

日本防蝕工業 エンジニアリング部 担当部長

山本 悟氏

講師② 鋼橋が抱える耐久性などの課題とその対策

岐阜高等専門学校 校長 名古屋大学 客員教授/名誉教授

伊藤 義人氏

本講演会では、鋼構造物やコンクリート構造物の鋼材の腐食や防食をターゲットに、そのメカニズムの基本やそれに関連する課題等について丁寧に紹介いただきました。

第15・16期 メンテナンスエキスパート認定者



岐阜大学
認定ME **305** [311]

昭和建設 (株)
駒田 賢治



岐阜大学
認定ME **306** [311]

(株) アースシフト
近藤 大智



岐阜大学
認定ME **307** [312]

(株) 野原組
竹内 勉



岐阜大学
認定ME **308** [313]

杉山建設 (株)
立川 博幸



岐阜大学
認定ME **309** [314]

(株) テイコク
浅野 信生



岐阜大学
認定ME **310** [315]

下呂市役所 建設部土木課
今井 雅士



岐阜大学
認定ME **311** [316]

コスモ技研 (株)
今村 直樹



岐阜大学
認定ME **312** [317]

川屋建設 (株)
上野 裕矢



岐阜大学
認定ME **313** [318]

高山市役所
基盤整備部建設課
宇津宮 徹



岐阜大学
認定ME **314** [319]

有限会社アイエムジー
岡田 章



岐阜大学
認定ME **315** [320]

(公財) 岐阜県建設研究セ
ンター 飛騨支所
岡田 光彦



岐阜大学
認定ME **316** [321]

(株) 大興計測技術
北名古屋支店
小川 孝之



岐阜大学
認定ME **317** [322]

有限会社 サンゲン
小川 博久



岐阜大学
認定ME **318** [323]

(株) ユニオン
奥田 好章



岐阜大学
認定ME **319** [324]

岐阜県県土整備部
道路維持課
和仁 晋哉



岐阜大学
認定ME **320** [325]

大日コンサルタント (株)
小坂 紘士



岐阜大学
認定ME **321** [326]

(株) 杉建
杉本 剛



岐阜大学
認定ME **322** [327]

(株) 野田建設
鈴木 哲史



岐阜大学
認定ME **323** [328]

(株) メイホー
エンジニアリング
中村 章成



岐阜大学
認定ME **324** [329]

TSUCHIYA (株)
永田 賢司



岐阜大学
認定ME **325** [330]

日東工業 (株)
名和 悠次



岐阜大学
認定ME **326** [331]

土岐市役所 建設部土木課
畑中 淳



岐阜大学
認定ME **327** [332]

岐阜県美濃土木事務所
道路建設課
服部 洋介



岐阜大学
認定ME **328** [333]

(株) 第一コンサルタンツ
兵頭 学



岐阜大学
認定ME **329** [334]

(株) 丸代西山生コンクリート
水野 洋平

第15・16期 メンテナンスエキスパート認定者

岐阜大学
認定ME **330** [335]中日本ハイウェイ・エンジ
ニアリング名古屋支店
目加田 良一岐阜大学
認定ME **331** [336]岐阜県大垣土木事務所
道路維持課
森田 健司岐阜大学
認定ME **332** [337](株)安江土建
安江 友博岐阜大学
認定ME **333** [338]岐阜市役所
基盤整備部道路建設課
山上 泰史岐阜大学
認定ME **334** [339](株)栗山組
山添 雅之岐阜大学
認定ME **335** [340](株)内田建設
内田 翔岐阜大学
認定ME **336** [341]曙開発 (株)
松田 一弘岐阜大学
認定ME **337** [342]各務原市役所
都市建設部道路課
吉川 知宏岐阜大学
認定ME **338** [343]多治見市役所
井澤 祐紀岐阜大学
認定ME **339** [340]羽島市役所
小川 博岐阜大学
認定ME **340** [345]岐阜県 岐阜土木事務所
加藤 晋也岐阜大学
認定ME **341** [346](株)佐竹組
棚橋 輝彦岐阜大学
認定ME **342** [347]岐阜県 大垣土木事務所
豊福 洋生岐阜大学
認定ME **343** [348]村瀬工業 (株)
長谷川 斎岐阜大学
認定ME **344** [349]美笠建設 (株)
日面 将一岐阜大学
認定ME **345** [350](株)石井組
平井 良房岐阜大学
認定ME **346** [351](株)ユニオン
福田 健二岐阜大学
認定ME **347** [352](株)市川工務店
藤塚 貴行岐阜大学
認定ME **348** [353](株)飛州コンサルタント
洞口 矩織岐阜大学
認定ME **349** [354]公益財団法人
岐阜建設研究センター
鉦 康義岐阜大学
認定ME **350** [355]土岐市役所
渡邊 健斗岐阜大学
認定ME **351** [356]セントラル建設 (株)
渡邊 浩典

ME活動報告

平成28年度活動記録(平成28年2月～平成29年1月)

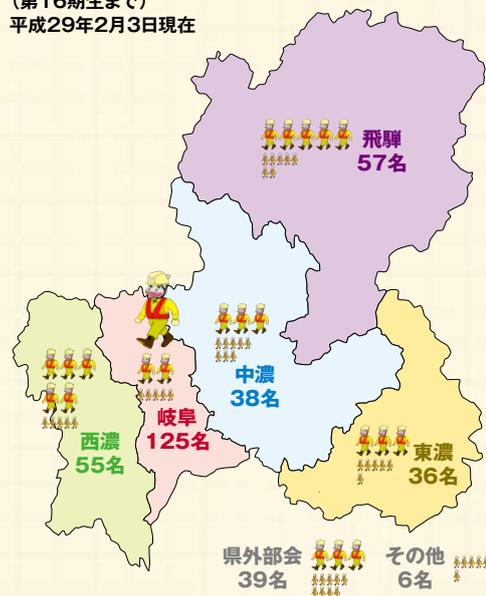
当MEの会は、MEとして活躍している会員のみならず、岐阜大学をはじめとする多くの関係各機関の皆様のおかげで運営を行っております。紙面をお借りして感謝申し上げます。

この度、平成28年度後期合格者にMEの会にご加入いただき、会員数は356名となりました。会員は、岐阜県内の5つの部会(岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨)と県外部会にそれぞれ属しておりますが、人数も増え、活動も活発になってきております。また本年度におきましては、規約改正を行い、地域を超えた勉強会などを開催できるようになりました。

会員のみなさまから寄せられた報告をいくつか抜粋してご紹介いたします。

MEの会356名

(第16期生まで)
平成29年2月3日現在



高校生を対象としたインフラメンテナンス出前講座 平成28年12月20日 静岡県立科学技術高等学校

ME県外部会では、メンテナンス技術者の育成が早急の課題となっている社会情勢を鑑み、次世代の土木技術者をめざす高校生を対象に、メンテナンスに関する出前講座を開催し、沢田教授の講義によりインフラの重要性およびその維持管理の必要をMEの観点から啓蒙を行いました。生徒の皆さんは、通学で毎日使用している道路設備や鉄道施設等の重要性をあらためて感じる良い機会となりました。講座の感想として、将来の夢を聞くと、地域の社会基盤を自分の手で守りたいという、非常に責任感の強さを感じさせるものがありました。また、われわれMEとして次世代への技能継承を考慮した活動の重要性を改めて考えることのできる良い機会となりました。



「ME」活動報告 MEの会 会長 河瀬 伊織 (ME134号)

平成29年2月3日に岐阜大学CIAMで主催された文部科学省によるシンポジウム「あたりまえの‘みち’のために」の前日には、共催の長崎大学・山口大学・愛媛大学・長岡技術科学大学それぞれの養成講座を修了した代表者が集った「修了生ワークショップ」が開催されました。事前に修了生対象に実施したアンケートでは、下記

のことなどを尋ねていました。

- ① 土木技術者として現場経験を経た後に学び直したことで変化したこと
- ② 学んだことをどのように生かしているか
- ③ 土木技術者として今後取り組みたいこと

結果として、実務で使える知識が増えたことや、修了生ネットワークを活用し、わからないことを聴き合える関係が土木業界全体の活性化につながっていることを実感している人が多いことが分かりました。また、修得した知識を個人の知識として留めず、仲間や後輩または地域に伝えることで、人々の暮らしの安全安心を地域みんなで考えるきっかけにしたいと活動を心掛けている人が多くいることが分かりました。

翌日のシンポジウムでは、パネルディスカッションがあり、それぞれの修了生代表が登壇し、アンケート結果を踏まえて意見交換を行いました。

私自身、修了生ワークショップに参加するのは3度目ですが、毎回、土木技術者であることに誇りを感じ、これを機に一層奮起しようと思えることはありがたいことです。

さて、ME活動の事例をいくつか紹介いたします。

① 神ヶ岩橋における補修工事と課題 (西濃地域部会フォローアップ研修)

私が携わっていた橋梁補修工事をフォローアップ研修の題材にして補修設計、補修方法、順序および問題点と課題について座学およびフィールドで学びました。参加したMEの施工者側からは設計の意図や疑問点、設計者からは施工での問題点などについて活発な意見交換を行いました。

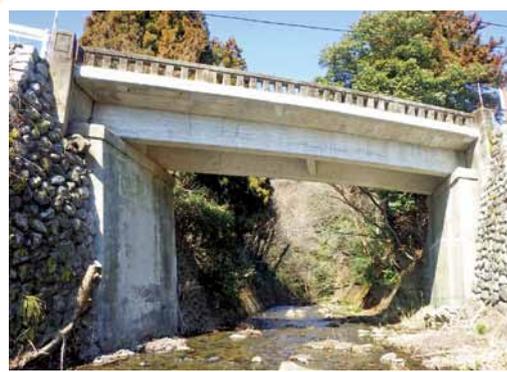
② 東海環状自動車道 養老IC 現場見学 (西濃地域部会フォローアップ研修)

「メンテナンスは作る場所を見ることも大事」という観点から、軟弱地盤上での盛土工事、鋼橋上部の架設工事について、研修を実施しました。軟弱地盤での沈下を予測した盛土工法や、鋼橋の長寿命化対策を取り入れた設計施工について学びました。普段はなかなか見学できないような場所でのフォローアップ研修はとても有意義でした。ご協力いただいた国土交通省岐阜国道事務所に心より御礼申し上げます。

③ MEを活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務

岐阜県では各土木事務所発注業務で「MEを活用した点検修繕業務委託工事」があります。15m未満の橋梁についてMEが点検・補修提案を行い、補修するものです。私自身、平成28年度に対象となった橋梁は28施設で、そのうち20施設について補修提案、10施設について修繕を担当しました。特に補修提案においては、補修方法などを決め兼ねた場合、MEのネットワークを活用し、得意とするMEに相談し助言を得ることができました。

なお、補修時期が冬期で降雪と重なり、補修する際の品質確保としては厳しい施工となりました。時期の見直しなど気が付いたことをMEとして発注者に積極的に提案していきたいと思えます。



4 斜面对策に関する専門部会の発足と活動報告

MEの会は、平成28年度に企画委員会を組織し、専門部会の設立等について検討してきました。専門部会設立の目的は、MEの研究成果を社会に発表し、MEの技術をブラッシュアップすることと社会貢献を同時に進めることです。最初の専門部会はインフラマネジメント技術センターの沢田教授に指導いただき立ち上げました。最初の専門部会は、外部識者とME4名をメンバーとしてスタートしています。「詳細DEMデータを活用した、斜面防災にかかる踏査」を研究テーマにすえ、昨年秋に、根尾の地すべりをメンバーで現地踏査しました。平成29年度は現地踏査箇所を増やし、研究成果としてとりまとめていくことを考えています。

平成29年2月9日(木)と10日(金)の2日間、iMec(舞鶴高専)講習会【基礎編(地盤と斜面)】が開催され、MEの会専門部会メンバーが講師として派遣されました。この講習会は、文部科学省平成28年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業として開発に取り組んでいるインフラメンテナンス技術者育成のための教育プログラムについて、学修効果の検証及び課題・改善点の抽出を行うとともに、インフラメンテナンス技術者の育成に資することを目的に実証講座として行われたものです。京都府丹後土木事務所、京都府中丹西土木事務所、福知山市、綾部市、京丹後市、与謝野町、舞鶴市から計9名の技術職員が受講されました。講習会では沢田教授による土質力学や、専門部会メンバーによる点検マニュアルの概要などの座学と現場での実習、ワークショップと発表を行いました。



iMec講習会の様子

平成27年度に活動をしたME表彰

平成28年度ME総会(平成28年5月13日)において、インフラマネジメント技術研究センターでは、平成27年度にMEとして顕著な活動をしたMEに対して表彰状を授与しました。

- | | | |
|--------------|--------|-------------------|
| 1. 優秀部会賞 | 飛騨地域部会 | |
| 2. 優秀部会賞 | 東濃地域部会 | |
| 3. 最優秀ME賞 | 古澤 栄二 | (株) テイコク |
| 4. 最優秀ME賞 | 久保田 京平 | (公財) 岐阜県建設研究センター |
| 5. 最優秀ME賞 | 川原 直樹 | (株) ユニオン |
| 6. 優秀ME賞(行政) | 重永 大介 | 瑞浪市役所 |
| 7. 優秀ME賞(民間) | 天池 大樹 | 丸ス産業(株) |
| 8. 感謝状 | 加藤 十良 | 丸ス産業(株) |
| 9. 感謝状 | 曾我 宣之 | 岐阜大学 |
| 10. 感謝状 | 中村 憲市 | (株) コンクリートテクノコンサル |



MEの会 活動記録(平成28年5月～平成29年2月)

H28. 4. 8	東海コンクリート診断士会・MEの会 合同研修会に参加	H28.10.14	ME・MS協働フォローアップ研修会(下呂土木) 講師として参加
H28. 4.26	H28年度第1回 東濃地域部会開催	H28.10.14	飛騨・中濃地域部会共催フォローアップ研修会開催
H28. 4.27	飛騨高山高校生対象のMSの講習会に講師として参加	H28.10.18	ME・MS協働フォローアップ研修会(高山土木) 講師として参加
H28. 5.13	MEの会総会開催	H28.11. 7	高山高校防災授業(飛騨地域部会) 講師として参加
H28. 5.23	H28年度第2回 東濃地域部会開催	H28.11.12	第5回 ME11期生会開催
H28. 6. 1	フォローアップ研修(白川村)に参加	H28.11.18	花里小学校防災授業(飛騨地域部会) 講師として参加
H28. 6. 4	第4回 ME11期生会開催	H28.11.29	岐阜地域部会開催
H28. 7. 1	西濃地域部会フォローアップ研修参加	H28.12. 6	先進的な道路舗装維持管理に関するシンポジウムに参加
H28. 7. 7	H28年度 MS講習会(飛騨地域) 講師として参加	H28.12.18	地域防災力向上シンポジウムin岐阜に参加
H28. 7.12	H28年度 MS講習会(郡上地域) 講師として参加	H28.12.20	静岡県立科学技術高校ME出前講座(県外地域部会) 講師として参加
H28. 8.23	H28年度第3回東濃地域部会開催	H28.12.22	ME・MS協働フォローアップ研修会(恵那土木) 講師として参加
H28. 8.28	中津川市神坂地区防災訓練にて講師として参加	H28.12.22	H28年度第5回東濃地域部会開催
H28. 8.30	MS更新講習会(郡上土木)(飛騨地域) 講師として参加	H29. 2. 2	大学高専連携 修了生ワークショップ参加
H28. 9.14	ME・MS協働フォローアップ研修会(古川土木) 講師として参加	H29. 2. 3	大学高専連携 シンポジウム参加
H28. 9.16	H28年度第4回東濃地域部会開催	H29. 6～11	中津川市神坂地区の危険箇所点検と地域協働(東濃地域部会) 講師として参加
H28.10.12	ME・MS協働フォローアップ研修会(郡上市) 講師として参加	H29.2.9～10	舞鶴高専IMEC講座(専門部会活動の一部として) 講師として参加

CIAMの活動報告(H28.1～)

※ 中核事業…文部科学省「成長分野等における中核的専門人材育成等の戦略的推進」事業

H28.1.20	浜松市技術講演会講演「メンテナンス時代の新しい公民連携を探る」
H28.1.28	中核事業修了生ワークショップ(TKPカンファレンスルーム) 参加
H28.1.28	中核事業 平成28年度第2回参画機関連携会議(TKPカンファレンスルーム) 参加
H28.1.29	中核事業 コンソーシアムシンポジウム「統安全な「みち」のために」(中電ホール) 開催
H28.3.22～H28.4.14	平成28年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 受講生募集
H28.5.13	第7回インフラマネジメント講演会開催
H28.5.29	第53回土木学会土木計画学研究発表会にて企画セッション「地域協働型インフラ管理の実践—岐阜県中津川市神坂地区の協働点検を通じて—」開催
H28.6.6～H28.7.1	平成28年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 実施
H28.6.8	合同安全推進委員会(岐阜県)にて、「土木技術者の地域貢献について」講演
H28.6.20～H28.7.14	平成28年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 受講生募集
H28.7.10	グローバルビジネス学会にて、「多様な主体が協働する仕組みに関する研究—地域協働型インフラ管理を事例として—」を発表
H28.8.26	平成28年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)認定証授与式
H28.8.28	中津川市神坂地区総合防災訓練におけるMEの話題提供
H28.8.29～H28.9.27	平成28年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 実施
H28.10.21	中核事業修了生代表ワークショップ(愛媛大学) 参加
H28.11.05	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第1回説明会(参加者54名)
H28.11.12	中津川市神坂地区地域協働型インフラ管理 協働点検実施
H28.11.18～H28.11.19	中核事業愛媛大学実施の徳島大学ME試行講座協力
H28.11.25	平成28年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)認定証授与式
H28.11.25	CIAM特別講演会開催
H28.11.26	中核事業 平成28年度第1回参画機関連携会議参加
H28.11.26	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第2回説明会(参加者46名)
H28.11.29	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第1回フィールド試験(参加者41名)
H28.11.30	第8回インフラマネジメント講演会開催
H28.12.7	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第3回説明会(参加者46名)
H28.12.22	中核事業修了生代表ワークショップ(岐阜大学) 参加
H29.1.6	愛媛大学ME成果報告会参加
H29.1.13	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第4回説明会(参加者54名)
H29.1.16	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第2回フィールド試験(参加者34名)
H29.1.25	山口大学ME成果報告会参加
H29.1.26	第9回インフラマネジメント講演会開催
H29.1.31	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第3回フィールド試験(参加者18名)
H29.2.2	中核事業修了生ワークショップ(今池ガスビル) 参加
H29.2.3	中核事業 コンソーシアムシンポジウム「あたりまえの「みち」のために」(今池ガスビル) 開催
H29.2.3	中核事業 平成28年度第2回参画機関連携会議(今池ガスビル) 参加
H29.2.8	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第4回フィールド試験(参加者45名)
H29.2.9～H29.2.10	中核事業舞鶴工業高等専門学校i-Mec実施の「地盤と斜面講座」協力
H29.2.10	長崎大学道守成果報告会参加
H29.2.22	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第5回フィールド試験(参加者76名)
H29.3.10	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第1回報告会(参加者152名)

平成28年度社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 (履修証明プログラム)

[前期]

申請書受付期間：平成29年3月21日(火)～平成29年4月12日(水)

受講資格審査面接：平成29年4月19日(水)

*面接の必要な受講申請者には個別に連絡します。

受講者発表：平成29年4月28日(金)

養成講座：平成29年5月29日(月)～平成29年6月23日(金)

[後期]

申請書受付期間：平成29年6月19日(月)～平成29年7月12日(水)

受講資格審査面接：平成29年7月19日(水)

*面接の必要な受講申請者には個別に連絡します。

受講者発表：平成29年7月28日(金)

養成講座：平成29年8月21日(月)～平成29年9月15日(金)

履修証明プログラムとは

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。大学等において、通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。

CIAMの活動予定(H29.4～)

月 日	概 要
H29.3.21～H29.4.12	平成29年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 受講生募集
H29.4.12	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第6回フィールド試験
H29.5.12	平成29年度MEの会総会
H29.5.12	第10回インフラマネジメント講演会
H29.5.29～H29.6.23	平成29年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座
H29.6.28	岐阜大学SIP実装プロジェクト 第2回報告会
H29.6.19～H29.7.12	平成29年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 受講生募集
H29.8.21～H29.9.15	平成29年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座

お問い合わせ

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター(CIAM)
TEL&FAX.058-293-2419 E-mail ciam-secretary@gifu-u.ac.jp

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/>